

1 国語に関する調査

【特長】

- 図表などを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかみる問題は、よくできていた。教科全般で、レポートや新聞づくりを行ったり、単元の振り返りを記述させたりすることを継続した結果、書く力が付いてきていると考えられる。
- 漢字について、正答率が高く、基礎学力が定着しつつある。ミニテストで力を試したり、文章の中で漢字を正しく使ったりする機会を増やした成果と考えられる。

【課題】

- 文章量が多くなると正答につながる情報を見出すことが苦手である。必要な情報を正しく読み取るために、細分化すること、スマールステップに分けて取り組むことを指導していく。
- 箇条書きを文章に直すとき、a・bどちらかの内容を落としてしまう児童が多くいた。授業の中で一度書いて終わりではなく、見直しや推敲を行うために教員や友達と読み合う場面を継続して取り入れていく。

2 算数に関する調査

【特長】

- 小数の加法・減法の計算の仕方を考える問題は理解して解くことができている。「もとにする数」と、小数第一位と小数第二位の位の違いが理解できていた。
- はかりの目盛りを読む問題については 1 目盛りが何グラムかを正しく理解し解くことができている。具体物を自分で操作することで、知識の定着が図れたと考えられる。

【課題】

- 調べた情報をもとにグラフの読み取りや加法・減法を解く問題などの情報量が多い問題を解くことに課題がある。必要な情報を見付け、取り出して考えることが難しい。普段の学校生活でも教師が必要な情報だけを提示するのではなく、複数の情報から児童が選択するような場面を作っていく。
- 分数に関する問題の理解に課題がある。日常生活の中で積極的に活用したり、視覚的に示したりして、理解が定着するような学習活動を取り入れていく。

3 理科に関する調査

【特長】

- 図など視覚的な手がかりから問題の答えを導き出すことができている。水の動きと温度の関係を関連付けて考えることができた。

【課題】

- 既習事項について、定着していない状態が見られるので、単元導入時に関連のある事柄を復習する必要がある。また、結果から考察を導き出すことに課題がある。考察の仕方や導き方の経験を積むことができるように指導していく。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「人の役に立つ人間になりたい」と回答する児童が多かった。異学年の学び合いやたてわり班活動、清掃を通して、みんなのために活躍したいという思いを大切にし、自主性や自己有用感の育成をはかっていく。
- ・自分の考えが伝わるよう資料や文章の組み立てを工夫して発表したり、自分で課題を立てて情報を集め、整理して調べたことを発表したりするなどの学習活動に取り組んでいると回答する児童が多かった。

【課題】

- ・「困りごとや不安がある時は先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した児童が少なかった。今後は、担任やその他の教職員、スクールカウンセラーに安心して相談できる環境を整えていく。
- ・ICT 機器の活用については、多くの項目で学習に上手に活用できていない様子が見られた。今後は、ICT 機器を活用するねらいを明確にし、さらに学習活動に取り入れていくよう努める。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・子ども達の状況をよく見て、意欲的に取り組めるような学習活動、異学年での学習など、土屋小学校の学びの姿をこれからも継続していく。
- ・学年の発達段階に応じて「学習計画表」を作成し、活用している。子ども達もその良さに気付き、日々の学習に活用している。引き続き「学習計画表」の活用を支援していく。
- ・様々な場面で効果的に ICT 機器を使うことで、自信をもって学習に取り組み、今まで以上に相手を意識した発表や説明ができるようにしていく。
- ・たてわり活動・掃除などの異学年交流を通じ、クラスの枠をこえた人間関係を築くことで、子ども達が安心して学校生活を送れるような教育活動を進めていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・朝食を毎日食べる、早寝早起きをする、スマートフォンやタブレットを利用する際は約束事を守るなど、規則正しい生活習慣を身に付けて学校生活が送れるよう、ご家庭でもお声かけをお願いします。
- ・「学習計画表」を生かして学習を進めている児童が増えています。ご家庭でも学習時間の確保と粘り強く学習に取り組めるよう、温かい見守りと励ましの言葉かけをお願いします。
- ・多くの子ども達が、「人の役に立ちたい」と思っています。これからも地域の一員として交流を深め地域行事にも積極的に関わっていきますので、温かいご支援と見守りをお願いします。